

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和6年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	37778	
事業名	育児休業等取得助成費						
評価担当課	所属	子)子ども育成 子ども企画課			電話番号		
施策名	ワーク・ライフ・バランスが広く定着し、性別を問わず、働きなが						
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外						
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理費			
	○ 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ● 補助・助成 ○ その他						
事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	「仕事と子育ての両立」を支援するため、平成20年からワーク・ライフ・バランス推進事業を実施してきたなか、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律が施行され、男性の意識改革や働き方の改革も含めたワーク・ライフ・バランスを実現し、男女が共に活躍でき、自分らしく働ける環境整備がより一層求められている。					
	事業内容(何を実施し)	仕事と子育てを両立しやすい環境づくりを進めることを目的に、一定の条件を満たすワーク・ライフ・バランスに積極的に取り組む中小企業に対し、従業員の育児休業等の取得に対する助成を行う。 ①育児休業代替要員雇用助成金:企業として初めて育児休業の代替要員を雇用した等の一定条件を満たす場合に助成を行う(最大700千円)。(R6実績:8件(4,125千円)) ②男性の育児休業取得助成金:雇用している男性従業員が初めて育児休業を取得した等の一定条件を満たす場合に助成を行う(育児取得5日以上:100千円、10日以上:200千円、1か月以上300千円)。(R6実績:48件(10,800千円)) ③子の看護等休暇有給制度創設助成金:子の看護等休暇を有給とし、制度活用がされた等の一定条件を満たす場合に助成を行う(100千円)。(R6実績:2件(200千円))					
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	仕事と子育てを両立しやすい環境づくりに取り組む企業が増えることにより、子育てしている方や子育てしながら働くことを希望する方が仕事と子育ての両立を実現することができる。					
	他都市の状況	千葉市 男性の育児休業取得促進奨励金:30日以上の子育取得で、労働者に50千円、事業主に150千円 新潟市 男性の育児休業取得奨励金:1か月以上の子育取得で、労働者に50千円、事業主に200千円					
	市民参加の実施	□ 企画 □ 実施 ■ 評価 □ 対象外					
令和5年度決算額	20,375 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0.25 人工		
令和6年度予算額	30,000 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0.25 人工		
令和6年度決算額	15,125 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0.25 人工		
令和7年度予算額	30,000 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0.25 人工		
指標	アウトプット活動指標1	助成金交付件数(累計)			という活動、業務を行うことで		
		令和5年度実績	令和6年度予定	令和6年度実績	令和7年度予定	令和8年度予定	令和9年度予定
		483	560	541	640	720	800
	アウトカム成果指標1	ワーク・ライフ・バランスplus認証企業数(延べ)			という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和5年度実績	令和6年度予定	令和6年度実績	令和7年度予定	令和8年度予定	令和9年度予定
		1001	1125	1135	1250	1375	1500
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	令和6年度は少子化や事業周知不足等の影響で申請が伸び悩んだ。次年度に向けて、より早期の効果的な事業周知について、取り組む。					
アウトプット活動指標2				という活動、業務を行うことで			
	令和5年度実績	令和6年度予定	令和6年度実績	令和7年度予定	令和8年度予定	令和9年度予定	
アウトカム成果指標2				という状態にしたい、成果を挙げたい			
	令和5年度実績	令和6年度予定	令和6年度実績	令和7年度予定	令和8年度予定	令和9年度予定	
指標2の評価、未達理由、今後の考え方							
今年度の見直し内容	「子の看護等休暇有給制度創設助成金」について、育児・介護休業法改正に伴い、企業が休暇取得事由を広く定めることを申請要件とした。						
来年度以降の方向性	現状の事業を継続して行いつつ、情勢に合わせた効果的な助成項目及び事業周知について検討する。						